

使用教科書		実教出版	
使用教材		『経済活動と法』『経済活動と法 問題集』	
指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	経済活動における ほうの役割 法の 意義と体系 法令 遵守	・経済活動の円滑な流れは法によって行われていることが理解できる。・安心して暮らせるのは法によって守られていることがわかる。 ・会社も法を守ることを第一に掲げていることを理解させる。・法の種類、分類が理解できる。	ノート・授業態度 1
	法の適用と解釈 経済環境など社会 の変化と法	・法の適用と解釈について説明をし、なぜ、裁判は争われるのかが、理解できる。	ノート・授業態度 1
	権利と義務 権利 と義務その主体	・私たちの生活は法律で成り立っている。その法律関係は権利と義務である。その意義と主体について理解させる。公共の福祉、信義則、権利の濫用など社会生活を送る上で大切なことを理解させる。	ノート・授業態度 2
	自然人の権利能力 行為能力 制限行 為能力制度 法人	自然人の権利能力・行為能力を理解させ、制限行為能力者について説明し、理解させる。権利義務の主体としての法人について理解させる。	ノート・授業態度 2
	物 財産権 物権	経済生活は物に囲まれ、物をめぐる生活である。物権の対象としての物の概念と範囲を理解させる。身近なことであるので判例など用いて説明する。物の分類の法律上の意味を理解させる。	ノート・授業態度 1
5月	財産権の種類 取 引と契約	財産権の中でも知的財産権について説明し、私たちの生活の中で財産権を侵害していないか、理解させる。契約の大切さと契約の怖さなども伝える。	ノート・授業態度 2
	物の売買(不動 産。動産)	動産、不動産の所有権の移転の時期、對抗要件について身近なことを例に挙げ説明し、理解させる。	ノート・授業態度 3
	財産権と契約 契 約の一般原則 分 類 意思表示	日常生活においても、契約は行われていることを理解させる。真意でない意思表示と瑕疵ある意思表示について説明し、契約する際には、慎重な行動が求められることを理解させる。	ノート・授業態度 3
	中間 考 査		ノート・ワークの提出 1
	物の貸借(宅地、 建物、賃貸)	・消費貸借と賃貸借の理解をさせる。 ・金銭の消費貸借については利息制限法と出資法について理解させ、サラ金の対応も学習させる。 ・経済的要請から誕生した定期借地権を理解させる。 ・建物の貸借について特別法の理解を中心に学習させる。 ・時効についてその制度の趣旨や内容のすべてにわたって理解させる。	ノート・授業態度 1
6月	契約によらない財 産権の変動		ノート・授業態度 3
	財産権の保護(物 権、債権、債権の 担保、不法行為)	・物権の請求権を具体例を通して理解させる。債務不履行の3つの態様について学習し、債権者としての対応を理解させる。 ・債権者平等の原則について理解させる。 ・不法行為の意義、要件について理解させる。損害賠償について学習し、不当利得についても理解させる。	ノート・授業態度 2
	企業活動の主体 (商人、商行為)	商人とはどのようなものをいうか。商人概念を理解させる。・商行為についてその種類を明確に理解させる。・商業使用人の存在を学習させ、責任関係を理解させる。	ノート・授業態度 3
7月	営業活動の自由と 制限	・営業自由の原則について理解させる。 ・公益や消費者利益の一層の公平さの追求のため、営業についての開始のとき営業の方法について制限のあることを理解させる。	ノート・授業態度 1
	期末 考 査		ノート・ワークの提出 1
	テスト返却		1
9月	株式会社と法 設 立の手続き 株主 の権利	株式会社の設立は、多数の人の利害関係人が存在するので、法的に厳格な規制があることを理解させる。定款についてどのようなものか理解させる。株主の会社に対する権利を理解させる。	ノート・授業態度 2
	株式会社の機関 責任	各機関のそれぞれの機能と各機関相互の関連を明確に理解させる。株主総会について決議事項と議決方法について学習を深めさせる。株主の責任について理解させる。	ノート・授業態度 3
	監査役 会計参与 の仕事	監査役の独立的機能性・重要性を理解させる。会計参与は利害関係者は会計参与になれないなどその仕事について、理解させる。	ノート・授業態度 2
	委員会設置会社 企業再編	委員会が設置される理由などを理解させる。企業が再編され、これからどのように変化していくのか、実際の企業を参考にしながら授業を進めていく。	ノート・授業態度 3
	手形。小切手の意 義と性質	小切手、手形はすでに学習しているが、もう一度改めて手形行為、小切手行為を理解させる。	ノート・授業態度 1
	勉強の仕方のポイ ント	・専門性の高い科目です。授業を良く聴いて、論理的に考え理解できるようにするよう心掛けることが必要です。 ・普段の生活の中でも法律行為を行っていることを理解してください。専門用語が沢山でてきますが、よく覚えてください。 ・2月には検定試験もありますので、積極的に受検してください。	

使用教科書		実教出版	
使用教材		『経済活動と法』『経済活動と法 問題集』	
指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
10月	手形行為 小切手 行為 約束手形	偽造、変造、代理について理解させる。約束手形のことはすでに学んでいるが、裏書などについて意義・方式について理解させる。	ノート・授業態度 1
	為替手形	為替手形に特有の引き受けの制度を理解させる。	ノート・授業態度 1
	小切手	小切手の意義と性質の復習。必要記載事項、自由譲渡性について理解させる。線引小切手の制度について理解させる。	ノート・授業態度 2
	中間考査		ノート・プリント 2
	手形小切手と企業活動	手形、小切手ともに企業にとって支払いの信用手段として、国際取引の取立ての手段として利用されていることを理解させる。	ノート・授業態度 3
11月			
	消費者の保護に関する法律 消費者の安全	市民生活を送る上で欠くことのできない法律知識について、とくにわれわれの生活を守る法律の存在について学習させる。	ノート・授業態度 2
	生活に身近な特殊売買	割賦販売、ローン販売、訪問販売など便利さと危険性を理解させる。	ノート・授業態度 3
	消費者信用	クーリングオフ制度を理解させる。ネット取引、ねずみ講、連鎖販売など悪徳商法の諸実態などを明らかにして、理解させる。	ノート・授業態度 3
	販売方法の多様化と消費者の保護	消費者センターの存在を教える。悪質な商法に対してはどのように対処すればいいのか理解させる。	ノート・授業態度 2
12月	期末考査の範囲の復習	プリント学習	ノート・授業態度 2
	期末考査		ノート・ワークの提出 1
	答案返却		授業態度 1
1月			
	労働に関する一般法特別法	働くということについて説明し、雇用・請負・委任の3つの型を理解させる。どのような法律がわれわれを守っているのか理解させる。	ノート・授業態度 2
	働くものの福祉 家族の法律関係 夫婦、親子の法律 時間係	働いていて困難にあったときの場合の対応を困らないように理解させる。社会生活の基盤として家族がありその家族を守る法律にはどのようなものがあるか理解させる。基本的な知識である戸籍、親族などを理解させる。	ノート・授業態度 3
	紛争の解決予防 強制執行 雇用		ノート・授業態度 3
2月			
	期末考査範囲の復習		ノート・授業態度 1
	学年末考査		ノート・ワークの提出 1
	テスト返却		授業態度 1
3月			